

アコード EMS ニュース 45 号を送ります。

JEMS-2017 年 9 月号より、「証拠を保存する」を取り上げました。

MCI (Mass Casualty Incidents= 多数の負傷者発生事案) では、テロである可能性もあるため、EMS 隊員には受傷者の対応と同時に、大事な役割のあることが書かれています。



Journal of  
Emergency  
Medical  
Services

## Preserving Evidence 証拠を保存する

Heightened awareness is the key when working at an MCI  
MCI 活動をする時は、認識力を高めることが鍵になる

救急サービスに当たる人員数を超えて多数の死傷者が発生する事件 (MCI=Mass Casualty Incidents) は、隊員の安全確保と受傷者の治療の両面から非常に対応が難しい。しかも今日の世界ではテロの可能性を排除できない。EMS 隊員の安全に警戒しなければならないだけでなく、被害者や被害者になる可能性のある人にも注意を払わなければならない。鍵になるのは高レベルの状況認識力を維持して、常に周りに何か普通でないものがないかどうかを見回すことだ。

EMS の責務は、まずは現場到着のために出来ることは何でも行い、受傷者の容態を判断し適切な手当てを行うことだ。この責務遂行には MCI が犯罪現場である可能性を考慮し、証拠保全の責務を念頭に行わねばならない。

MCI において、EMS 隊員の重要責務には「証拠の保存」という一面がある。証拠物の保全と破壊を回避するだけでなく、EMS 隊員の現場観察や第三者から聞いたことも保全しなければならない。救急隊員が現場到着の最初のレスポnderであるケースが多い。証拠になるかもしれないものが動かされたり破壊されたりする前に現場に到着できる唯一の人員である可能性が高い。EMS 隊員の行動や行動の欠如が、捜査の結果に重大な影響を与えるかもしれない。

### 5 つの秘訣 (Five Tips)

- 常に上下左右を観察する。** 受傷者と思われる人を発見するとトンネル・ビジョン (視野狭窄) になり周辺部を見なくなり易い。そうならないように、同僚と声を掛け合い注意し合おう。MCI に限らずどんな事件であっても、状況を正しく認識するためには、現場の全方向を見ることだ。注意深く辺りを見回し全てを観察しよう。普通でないと思えるどんなことでも、例えば被害者らしき人の脇に不審なバックパックがあったら警戒し、即座に通報すべきだ。現場での活動には常にこうした 360 度方向のアプローチを保てば、通常では気付かない全ての事象の観察が可能となる。
- 目に映るものを詳細に記録する。** 受傷者が複数の MCI 現場に関する記録は、1 人だけのときより、もっと詳細になされるべきだ。2 種類の報告書を作成することを標準的なレポート規程とする。ひとつは受傷者の治療についての報告 (PCR=Patient Care Report・患者ケアレポート)、もう一つは現場で観察したことを報告をする (SOR=Scene Observation Report・現場観察レポート)。SOR では報告者の行動と観察を最初から最後まで 1 つずつ記し、重要な情報を文書に残し、潜在的な証拠を保存するために用いる。受傷者の治療に係わる観察は PCR に記録する。

**3. 絶対必要でない限り、物は動かさない。** 受傷者ケアの基本は、害を与えないことである。この基本は証拠になるかもしれない物品などの保存にも適用されるべきだ。EMS 隊員は周辺にも注意を払いつつ現場に近づき、死亡が確定して蘇生措置が不要となったといえども犠牲者を動かしてはいけない。いかなる物理的なアイテムも絶対に必要で無い限り移動させてはいけない。もし犠牲者や物品を、安全性や治療が理由で移動させる必要があれば、それらの元の位置を SOR に記述するべきだ。

**4. 不審な事態はすぐ報告する。** (DHS =Department of Homeland Security: 米国土安全保障省) はテロリズム撲滅を目指して、「何か見たら何か言おう! (See Something, Say Something!)」というスローガンのもとに、広報活動を開始した。このガイドラインは疑わしい事態の報告に用いられ、MCI への対応にも有効性が高い。MCI はテロリズムの結果かもしれないからだ。疑わしい事態を報告する場合には、常に間違いを恐れず迅速を優先しよう。DHS・米国土安全保障省が用いる SALUTE の頭文字が参考になる。

- S: Size サイズ:** 現場で見える救助員以外の人の数、性別、年齢、可能なら身体的な特徴を説明する。
- A: Activity 活動:** 現場に到着した時に救助員以外の人が何をしていたかを説明する。
- L: Location 位置:** 救助員以外の人が観察された正確な位置を述べる。
- U: Uniform 着衣:** 疑わしい人物が着ている服、靴の種類などを説明する。
- T: Time 時間:** 疑わしい人物がいた時間の長さとして行った場合はその方向を示す。
- E: Equipment 機器:** 不審な車両のモデル/色/ライセンス番号、物 その他現場で見た不審な機器類/ツール、武器あるいは武器に成り得る器物を説明する。

**5. 冷静を保ち/常識を用い/直感を信じる。** 効果的な観察のためには、心が冷静で澄んでなければならない。人は興奮し感情的になり、アドレナリンが溢れていては物事に気付く難くなる。現場に近づいたら、立ち止まって深呼吸して冷静になろう。そうすれば、危険な場所に入る前に心がクリアになり、観察力/認識力を高めることができる。何かがおかしいと直感したら、やっていることを一旦止め周囲を見回そう。あなたの直感はしばしば潜在的な危険を認識してくれるが、MCI ではその危険が事件を起こした元凶である可能性もあり、直感を磨くことが大切だ。

JEMS September 2017 掲載、「PRESERVING EVIDENCE」より

### アコードのターケット CAT について

NAR ターケット CAT  
NAR3023 NAR3001



アコードで輸入販売しているターケット CAT は、NAR 社 (North American Rescue, LLC) オリジナルのレッドチップターケットです。製造元は C-A-T Resources, LLC 社です。NAR 社は米国内の CAT の独占販売会社で、アコードは NAR 社の日本代理店です。アコードは、CAT の製品保証・製品管理を責任を持って行っています。一般医療機器として届出をしていますので、安心して、ご購入・ご使用ください。

ご意見や問い合わせはこちらまで。

担当: 高橋 徹  
Email: takahashi@accord-intl.com

文責: 山本 博太

アコードインターナショナル株式会社  
151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-9-4-1005  
TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752  
e-mail: Accord@accord-intl.com http://www.Accord-INTL.com

